

2022
企画展
Winter



縄文 は川遺跡の 皿形土器 かたちの美

縄文時代の遺跡からは、鉢・皿・壺・注口などさまざまな形の土器が出土しています。なかでも皿形土器は、使用するには見えない底の部分にまで丁寧に文様が施された精巧なものが複数見つかっています。本企画展では、その中でも是川遺跡出土の形や模様のデザインが特にきれいなものを中心に紹介します。

2022

12.10^土 >> 2023 3.21^火 祝

八戸市埋蔵文化財センター
是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1
TEL:0178-38-9511 FAX:0178-96-5392
<https://www.korokawa-jomon>

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：12月12,19,26～31 1月1～4,10,16,23,30
2月6,13,20,24,27 3月6,13,20

観覧料：通常料金でご覧になれます



櫛引遺跡出土品重要文化財指定について

1. 文化財の種別 重要文化財（考古資料）

2. 名 称 あおもりけんくしひき いせきしゆつどひん
青森県櫛引遺跡出土品 一括
(内訳) 深鉢形土器 1点、土器片 76点、石器 6点

3. 所 有 者 八戸市（八戸市博物館 保管）

4. 文化財の概要

八戸市大字櫛引字蒼前に所在する櫛引遺跡でみつかった竪穴住居跡と土坑跡からの出土品。深鉢形土器をはじめとした全83点で構成される、縄文時代草創期後半（約11,000年前）の一括。

特に多縄文系土器群に属する深鉢形土器は、9割ほどが遺存し、口縁部に付された山形のたじょうもん小突起や刻み、2種類の縄文原体を用いて施文することで羽状構成をなす文様、3段に屈曲する形状、緩い丸みを帯びた底部など、その特徴が明瞭に観察できる。全形を窺い知ることができる縄文時代草創期の土器は稀少であるなか、完形に近い個体を含む一括として極めて貴重な資料である。（縄文時代草創期・約11,000年前）

5. 今後の活用

八戸市博物館常設展示室及び収蔵庫において、展示・収蔵する予定である。



重要文化財指定品 83点